

木浦鉍山の歴史考

中 林 幸 夫

(会員 香川県綾歌郡国分寺町)

第一九一号『木浦鉍山の歴史』(酒井博)を読んで木浦鉍山は現在も鉍山として活躍しているように書かれているが鉍山といえるのだろうか。

現在、採掘されている『エメリー』といわれるものは鉍物には違いないが金属をつくりだすものではない。昭和50年代に私が木浦を訪れて木浦の過去を知る人に鉍山の歴史を聞き、収集家が収集している鉍石を見せてもらい、話を聞いたが現在は鉍物はなくエメリーと呼ぶ石がでており、エメリーはダイヤモンドに次ぐ硬度があるので研磨材として使われていると言ってエメリーの石ころをくれた。

もらった石ころをグラインダーで磨きはじめたが固く

て途中でやめた。銀か錫の鉍石はないものかと探索したが完全に取りつくしているので無理だといわれた。

以前、対馬の対州鉍山で亜鉛銅の採掘現場をみせてもらったが、鉍脈はかたままって続いており、採掘した鉍石はそのまま溶かしても金属のかたまりだと思える物であった。

愛媛県、別子銅山で見せてもらった鉍石も見るからに銅という感じのものであった。

石炭の鉍脈も全てが石炭であり、延々と続いている。

特別の鉍山以外は肉眼で見ても岩石は含有量から想像がつく。

今から約三百年前までは金、銀、銅、鉄、水銀、錫、など十二の元素しか確認されていなかったが、現在では一〇九の元素が確認されている。

このなかで常温でかたまらない水銀は早くから発見されており、いろんな鉍物と融合するためアマルガムとしてメッキに使われており、奈良の大仏のメッキに使われたことは有名である。

採掘に困難がある水銀がなぜ早く採掘されたかは疑問

である。(アマルガムとは水銀と他の金属の化合物をいう)

私が水銀の鉱脈があるのではないかと思つたのは、鶴見半島と大島に沿つて土が赤く見えるところがあり、大分市に昔、水銀を採取したのではないかと思われる丹生、丹川、という地名があり、鶴見町の丹賀浦も水銀に関係があつたのではないかと思つたからである。

徳島県の歴史博物館を訪れたとき、昔、徳島では水銀を盛んに採取していて、その状況が説明されていて朱色の岩石を砕き、水銀を採取した説明があつた。

鶴見半島の先端付近から引き上げられた岩石を磨いていると地殻変動で地盤の変動がはつきり見えるところがあり、幾千年か幾億年かの時代に地球上では大変動があつたことがはつきりしている。

その一つがセメントを産出する山々である。

現代人には想像できないが津久見、佐伯地方の石灰岩の山々は遠い昔の海岸で石灰岩、即ちサンゴ礁や貝殻の堆積した物である。

北九州の炭鉱地帯は幾億年かの昔、森林地帯が地殻変動で埋没したものであり、石炭にならず化石のままのものも多い。

セメント山の中に貝殻の化石があるのも同じである。大理石もアンモナイトや貝殻の堆積したものであるため、大理石の中に化石が含まれている。

今、現代人は地震がいつ起こるかもしれないと騒いでいるが昔、地球上で大々的な地殻変動があつたため、現代、石炭、石油、などが産出されているのである。

もし、地殻変動がなく地球ができたままの状態であれば石炭、石油、セメントもないわけである。

セメントがなかったら、都会にビルも立たず人間社会の形態は想像できないものになつていいるだろう。

津久見、佐伯というセメントの生産地であればセメントについてもっと産地の人として勉強すべきことがあるように思われる。

セメントも科学の進歩によりセラミックと呼ばれる固い物も作られている。『京セラ株式会社』はセメントを原料としている会社であるがセメントから人工ダイヤモンドを作るなど大発展をとげ日本の有数の企業に成長している。

私は化石が地球の生い立ちを知る上で参考になると
思つて自分でひろい集めた化石を磨き、自分なりにいろ
いろと地球の生い立ちを想像している。サンゴ礁が発生
して、それから幾千年がたち堆積物が石灰岩になりセメ
ントになるまでは長い長い年月を要したことであろう。

化石は古い時代を蘇らせてくれ古い古い時代を考えさ
せてくれるから面白い。

昔々、宇宙から大きな大きな流れ星が衝突して地球上
のマンモスなどが全滅したともいわれている。

地上の鉱物岩石は学者によつて研究されつくしている
が、地上の三倍以上ある海面はまだほとんど手付かずで
あるから開発の余地は大きい。これから研究の対象にな
ることであろう。

江戸時代の伊能忠敬が毎晩、星をながめて観測してお
り彼らは天体観測は重要なものとして考へていた。

STAR (星)、PLANET (惑星)、FIXED
STAR (恒星)、SATELLITE (衛星) の区別を
知っていたのであるから驚きである。

私の知人の一人は高校の先生であるが天体観測のため
に先日はフランスに行つていた。

また、元小学校長は一般旅行者として南極へ行つてい
た。目的は隕石を拾い集めるためだと言つたから驚いた。
地球の起源は隕石にあるという。

そして隕石には微弱な鉄分があると教えてくれた。

私が小半鍾乳洞おんがらの前の川原で拾つた黒色の中に白い斑
点のあるものは微弱な磁力があるのである。古い時代の
隕石かも知れないのである。

科学の終わりはない。私の現在住んでいる国分寺町
は一九八六年七月二十九日、戦後最大の隕石シャワーが
降つたため隕石にくわしい人が多い。

番匠の 流れに歴史の 秋があり 幸夫